

ベトナム国 農業分野における開発ニーズ(課題)

- 鮮度保持技術(冷蔵や包装)不足による流通経路やスーパー等での農産物廃棄
- 流通過程での品質劣化による農産物の低価格化と農家の低収入
- ベトナム政府は2025年までに食品の無駄・ロスをなくすための行動計画を策定

提案製品・技術

独自の特殊技術で、エチレングス吸着と抗酸化を実現した鮮度保持フィルム(アイッシュ(I-SCH))。

- 鮮度劣化の要因に直接作用し鮮度長持ち
- 常温下においても効果を発揮
- 農作物の包装袋として加工が容易



本事業の内容

- 契約期間: 2022年2月~2022年11月
- 対象国・地域: ベトナム国ホーチミン市、ハノイ市、ラムドン省、ビンズオン省
- 案件概要: 提案製品の輸出と現地での加工・販売事業の展開に関する調査を実施し、提案製品の導入により、農産物の輸送時と販売時の鮮度低下によるフードロス削減と消費者満足向上を通じて農家の所得向上に貢献する。



開発ニーズ(課題)へのアプローチ方法(ビジネスモデル)

- 鮮度保持コーティングされたフィルムを輸出し、現地で包装等に加工し、現地代理店を通じてスーパー、コンビニ、農協、農業資機材店等に卸す。
- 普及活動はプロダクトアウトではなく、「鮮度がいい農産物を望む消費者⇒バックヤードや店頭での鮮度保持の徹底⇒各スーパーが輸送時の鮮度保持基準を定める」というマーケットインの戦略をとる。

対象国に対し見込まれる成果(開発効果)

- スーパー等での鮮度保持の取組を生産地に波及させ、フードロスを削減する。
- 安価で維持費がかからず、取り扱いが簡単な提案製品の導入により、コールドチェーンを補完し、輸送時の廃棄ロスを削減する。
- 各流通経路における農産物の鮮度保持を通じて、消費者満足と農家所得の向上に貢献する。